

# 第1学年〇組 美術科学習指導案

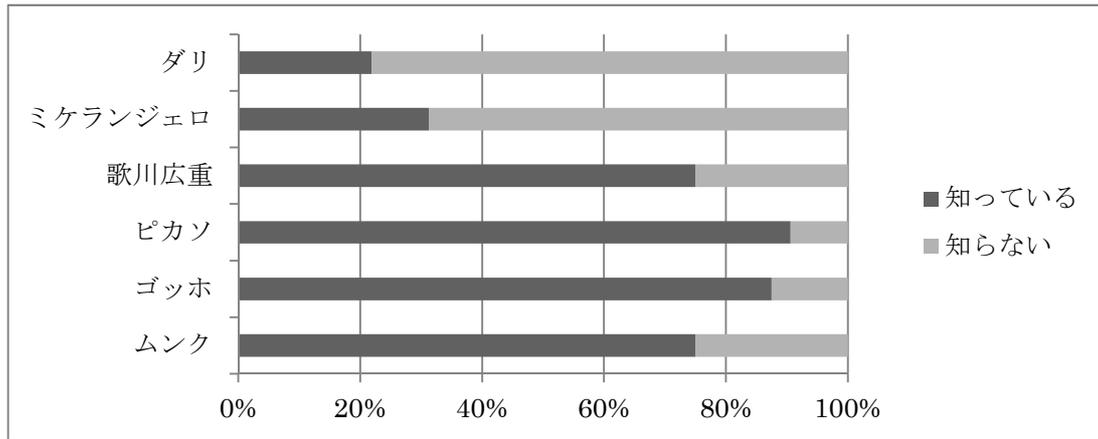
平成26年〇月〇日(〇)  
第5校時 2階美術室  
指導者 教諭 小野 東子

1 題材名 「巨匠に学ぶ(ゲルニカ)」(鑑賞)

2 題材について

(1) 生徒の実態

9月に本学級の生徒がどのくらい作家について知っていることがあるかの調査を行った。班内でどの作家を知っているか、などの会話が自然にはずみ、興味津々の様子であった。歴史の授業で習ったことのある名前については「知っている」との回答が多かったが、名前だけしか覚えていない生徒も多かった。何名かの作家の中で、ピカソはその名がよく知られている作家であるようだ。以下、調査結果を載せる。



名前を知っている作家について、知っていること、作品を言葉で記述させたところ、ピカソに関しては、32名中11名が具体的な回答をした。「雑な絵」「不思議な絵」「個性的」「色とりどり」「ぐちゃぐちゃ」「独特」などのいわゆる後期の作品のイメージが強い中、「キュビズム」「はじめは普通の絵を描いていた」と深い知識のある回答をした生徒が2名いた。

(2) 題材観

スペインに誕生した共和制政府に対抗して1936年に起きた内乱の中で、翌年フランコ将軍から依頼されたナチス軍が地方の小都市であるゲルニカを無差別爆撃をした。ピカソはこれに対する抗議や怒りを絵画で表現し、ちょうど依頼されていたパリ万博に出品し、戦争犯罪を世界中に告発するために約1か月というスピードで制作した。その後各国で平和のシンボルとして展示され、第2次世界大戦中も高い評価を得ていた。戦後ようやくスペインに返却され、絵の存在や経緯自体が戦争と平和を語っているといわれている。その強い思いや意図があって絵画が制作されていること、そして1枚1枚の絵にはそれぞれ作者のメッセージがあるのだということに気付いてもらいたいと思い本題材を設定した。

(3) 指導観

ピカソという人物をほとんど知らない生徒が多い中での展開となるため、先入観なくそれぞれの素直な感想を引き出したい。その中にはマイナス表現も多く含まれることが見込まれる。後期の作品のゆがんだ形の作品を、そのままでは理解は難しい。初期の基礎的な描写力に裏付けがあり、常に新しい表現への絶え間ない努力があったからこそその表現だということを知らないと、本来の価値に気付くことができない。本時の展開を通して、最後には、ピカソの強い思いや、生き方を理解し、価値の変容を遂げさせたい。ひとりひとりの考えを大切にしつつ、方向性のしつかりとした展開にする必要がある。

また、本時は共に学び合い、教え合う協調学習の形をとる。展開前半では自分の選んだモチーフが何を描いているか、同じモチーフを選んだ者同士話し合いをすすめ、一度情報をまとめる。展開後半では各グループでの話し合った結果を自分の班に持ち帰り、さらに他の場所で話し合いをしてきた班員の話聞き、再度話し合い、絵全体が何を表現しているのかひも解いていく。2つの段階を追うことで、様々な考えを自分なりの解釈で1つにまとめていくことができると考える。

3 研修課題「言語活動の充実をふまえた美術科の指導」との関わり

本時の展開で言語活動の要素は2つある。

1つ目は、作品から感じたこと、思ったことを自分なりの言葉で表現する活動である。自分の考えを掘り下げ、なぜそう思ったのか、どの部分から読み取ったかなど、感じたり、考えたりしたことを形にしていく手段が言語である。

2つ目は、他者に自分の考えを伝えたり、言っていることを理解して整理したりする活動である。自分の考えなのか、誰かの伝聞なのか、主観と客観を区別する必要がある。また話すことができても、聞いて理解することができなくては広がりを持たない。違っていてもいいということを受け、相手を理解しようとお互いに思い合う力が大切である。

4 学習指導要領上での位置付け

B鑑賞－(1)美術作品のよさや美しさを感じ取り味わう活動

作者の心情や意図と表現の工夫を読み取り、作品に対する思いや考えを説明し合う。

[共通事項]

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。

イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。

5 育てたい能力・態度等

作品をよく見ることにより、作者が様々な背景からこの作品を制作したのだということに気づき、作品の価値に気付かせる。また、1つの作品にこれだけの思いがあるということを知り、他の作品もそれぞれの価値があることを学ばせる。

6 学習活動に即した評価規準

美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
<p>関① ピカソの作品や生き方に対する関心を持ち、積極的に鑑賞しようとする。</p> <p>関② 作品に対する自分の考えや作者の思いを伝え合い、それぞれの思いを理解しようとしている。</p>	<p>鑑① ゲルニカの作品に対する自分の思いや考えを説明し合い、見方や感じ方を広げる。</p> <p>鑑② ゲルニカの全体のイメージや作品に込められた作者の思いや願いを感じ取り、自分の思いや考えを持って味わう。</p>

7 指導と評価の計画 (全1時間)

学習のねらい 学習活動 ※「●」は、学習のねらい 「・」は、学習活動	学習活動に即した評価規準	
	美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
<p>1. 導入</p> <p>●ピカソの作品に関心を持つ。</p> <p>・ピカソの様々な作品のイメージの違いを感じ取る。</p> <p>2. 展開</p> <p>●細かい部分をよく鑑賞し、描かれているものや表現方法に注目する。</p> <p>・ゲルニカの作品の中で自分が一番印象に残るところはどこか考える。</p> <p>●自他の意見の相違を見つけ、お互いの考えを認め合う。</p> <p>・自分が選んだ部分が何を表わしているか、似た場所を選んだ生徒同士、意見を交換する。</p>	<p>関①ピカソの作品の造形的なよさや、作者の心情や意図に関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。 [観察・発言]</p> <p>関①ゲルニカの作品に関心を持って細部までよく鑑賞する。 [観察・プリント]</p> <p>関②作品に対する情報や思いを伝え合い、それぞれの思いを理解しようとしている。 [観察・プリント・発言]</p>	<p>鑑①自分の見方、感じ方で何が描かれているか考えながらゲルニカを鑑賞する。 [観察・プリント]</p> <p>鑑②互いに交流する中で、作品の見方を広げ、新しい価値観に気付く。 [観察・プリント]</p>

<p>●交流を通して、ピカソのゲルニカに対する意図や表現の工夫などを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲルニカ全体でピカソが何を表現しようとしていたのか、班ごとに意見交換する。</li> </ul>		<p>鑑② ゲルニカの全体のイメージや作品に込められた作者の思いや願いを感じ取る。 〔観察・プリント〕</p>
--	--	---

表中の表記は以下のとおりである。

- ・**関**は、「学習活動に即した評価規準」を示す。
- ・〔 〕は、評価方法・資料を示す。

### 8 本時の計画

- (1) 目標 ピカソの作品に対する思いを知り、新たな価値観を学ぶ。
- (2) 準備 生徒 筆記用具  
教員 拡大ゲルニカ資料 記述プリント トレーシングペーパー

#### (3) 展開

過程・時間	学 習 活 動	指導上の留意点  〔共〕：共通事項に係わる内容	評価と手だて 〔○：十分満足できる状況〕 〔◆：C判断生徒への手だて〕 △言語活動	準備等
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時はピカソの鑑賞の授業を行うことを知る。</li> <li>・黒板に張られた何枚かの作品を見て、どれがピカソの作品であるかをあてる。</li> <li>・様々な作風の作品のすべてがピカソの作品だと知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のこととしてとらえさせるため事前アンケートの内容に触れる。</li> <li>・わかりやすく説明するため、生徒の価値観に近い例を出し、ピカソの人生の変遷を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味を持って話を聞く。</li> <li>◆話題に集中させる。</li> </ul>	ピカソ作品
展開  10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きなゲルニカの絵を見て、まずどんな印象を受けたか、素直に感じ取る。</li> </ul> <div data-bbox="244 1473 1157 1534" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">この絵の一番印象深いところはどこだろう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲルニカの絵の中で、自分が気になるところ（気に入ったところ、疑問に思ったところ、など）を一か所選ぶ。</li> <li>・トレーシングペーパーにその部分を線でうつす。</li> <li>・その部分は何を描こうとしているのか、なぜ気になったか、疑問に感じたことなどをプリントに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の素直な言葉を肯定的に受け止める。</li> <li>・描かれている様々なものに徐々に注目させる。〔共〕</li> <li>・想像力をふくらませるため、この段階で具体的な説明はいれない。</li> <li>・生徒の言葉を広げながら興味を引き付ける。</li> <li>・間違いはないことを伝え、自分の感じたものに自信を持たせる。〔共〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○絵に関心を持って見ている。</li> <li>◆感想を聞くなどして集中させる。</li> <li>○自分の考えを持って絵の細部をよく鑑賞し、ポイントを定める。</li> <li>◆「気に入る」ところがない場合、「疑問に思う」「謎の部分」に注目させる。</li> <li>○積極的に行動に移る。</li> <li>◆どこにするか決められず、誰かのまねをすることのないようにする。</li> <li>○自分の考えや感じたことをプリントに記入する。</li> <li>◆考えが言葉でまとまらない生徒には質問をしながら言葉を引き出す手助け</li> </ul>	ゲルニカ 掲示  プ リ ン ト  ト レ ー シ ン グ ペ ー パ ー

			<p>をする。</p> <p>△自分なりのとらえ方をし、言葉にすることができたか。</p>
10分	<p>それぞれの部分は何を表現しようとしているのか考えよう</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>似た場所を選んだ者同士集まり、意見を交換し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの意見を認め合うようにする。</li> <li>次に班員に意見を伝えられるよう、メモをとるなど意見を整理させる。</li> </ul>	<p>○自分の意見をしっかり伝え、また、他者の発言を理解しようとする。</p> <p>◆しっかり話を聞き、メモをとるよう促す。</p> <p>△それぞれのイメージを言語で伝え合うことができたか。</p>
13分	<p>この絵でピカソは何を表現しようとしていたのかみんなで考えよう</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>班に戻り、それぞれの部分について似た場所のグループで話し合った内容を伝える。</li> <li>絵全体について何を表現したかったのかを話し合い、意見を出し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いを十分にさせ、自他の意見をよく交流させる。</li> </ul>	<p>○自他の意見をまとめ、ピカソが作品に込めた思いや願いを主体的に考える。</p> <p>◆班員の意見をまとめさせ、全体のイメージをとらえさせる。</p> <p>△交流を通してイメージをとらえることができたか。</p>
整理 7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピカソの生き方、ゲルニカのメッセージについてのまとめを行う。</li> <li>生徒への振り返りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの班の解釈を否定しないようにしながらも、本来の価値観をしっかりと学ばせる。</li> </ul>	<p>○ピカソの作品に対する思いを知り、自分の持っていたイメージと、本来の価値との違いを理解する。</p>

## 9 板書計画

今日の予定			自分の作業				次回の予定	
巨匠に学ぶ			今日のピカソなりきり度？%				パッケージ色ぬり	
ピカソ 作品	ピカソ 作品	ピカソ 作品	ピカソ 作品	ピカソ 作品	ピカソ 作品	ピカソ 作品	ピカソ 作品	ピカソ 作品



拡大ゲルニカ資料